北海道の経験を未来につなげるために

地域政策の歴史的文脈から

北海道再生構想会議　2018 年 5 月 31 日
小磯修二

はじめに

・150 年事業の議論　　長期の時間軸で見つめる、見つめ直すことの意義

１　私と北海道

・北海道の特性、魅力　地域総合開発計画の伝統
・国、自治体、民の連携プレーによる地域分析力　北海道経済白書を支えた政策集団
・地域政策の醍醐味

２　外から見た北海道

・経済協力活動の経験から
・北海道の発展と地域政策　　長期計画、総合政策体制、財政調整制度
・台湾と北海道

３　50 年で見えること

・1968 年とは　高度経済成長　国際化　公害問題　その後のオイルショック
・北方園構想　地方発の独創的政策　からいも交流　環日本海圏構想へ
・苫東開発の意義　「破たん」か　先駆的な環境アセスメント　先行買収
・資源有限の意義　経済・生活・環境

４　時代を見つめる力

・地方創生を超えて
・歴史的文脈から地域政策を見る
・パラダイムの転換
・①民と官、②国と自治体、③大都市と地方（拡大している地域間格差）